

このビジョンは、あいコープみやぎに関わる皆さんの願いを形にするために、事業や活動において2025年までにどんな事に取り組むかを考えて作られました。アンケートや組合員への聞き取り等を参考に、組合員・職員・生産者によるビジョン委員会での7カ月のワークショップや話し合いを経てまとめられました。



## ごあいさつ

### はじめに

生協設立当初から生産者とともに夢を語りあい、ありたい姿を追い求め、「世の中にないものは自分たちの手で」と開拓し続けて来ました。生協運動の歴史には揺るぎない理念があり、これからも根っこは変わりません。単に安全・安心な食べ物を配達するだけでなく、自分たちだけの幸せを求めているわけでもありません。

大企業がビジネスしやすい環境作りに余念がない国策。人々の命、暮らしや自然環境を軽視し続ける社会。その中で私たちは持続可能な社会実現のために活動を進めています。平和を願い、分断や格差のない、誰もがこころ豊かに笑顔で暮らせる社会。子どもたちに残す豊かな自然環境。これらの実現に向けて、組合員・職員・生産者がともにありたい姿の未来予想図を描き「あいコープみやぎ2025年ビジョン」を策定しました。

### 3年到達ビジョン・2020年ビジョンで叶えた夢

東日本大震災から10年。2つのビジョンを道標に言葉では言い尽くせない困難を乗り越え到達した夢があります。震災前から描いたながめやま放牧酪農牛乳の供給です。また、津波被害からの復活を願い2つのレンズ風車をシンボルに設置しました。再生可能エネルギーの電力小売事業が始まり、発電産地の仲間も増えています。震災から立ち直ろうと生産者の努力が詰まったこだわりの商品を伝えるあいふらんど運動から現在のPB「あいシテル」の展開へ繋がりました。そして、産地とともに取り組んだ優ふらんど運動から発展した新栽培区分のトライアイズ、0&0は有機農業への前進に繋がっています。事業と活動の両輪で、震災前の事業規模に戻れたことは大きな成果です。このようにビジョンを掲げ達成することで、夢を諦めないで描くことの大切さを学びました。

### さらなる飛躍のための4つの柱

「2025年ビジョン」では、あいコープみやぎが基本理念で謳っている「人・食・環境・協力の力」を4つの柱として表現しています。コロナ禍で社会の転換期を迎える今こそ、経済が中心ではなく、人を中心とする生協運動の意義がますます大きくなっています。私たちは「自分(I)」の「目(eye)」で見て、「愛(love)」のある選択が出来るように、知恵と勇気を積み重ねて来ました。これが機関紙「あいあいあい」の名称にもしている、あいコープの精神です。「あいコープ生活」をしている一人一人が誇りと自信を持って、4つの柱を道標にさらなる飛躍につなげていきましょう。

### つながり・はぐくみ・ゆたかに・つたえるを合言葉に

食卓が変われば社会が変わります。一人一人の力がこれからの生協運動の大きな輪を広げていく事が大切です。「つながり・はぐくみ・ゆたかに・つたえる」というフレーズには、人の心を温かくするような言葉でビジョンを伝えたいという願いが込められています。どんな時でも心に太陽を持ち、希望を失わないこと。組合員・職員・生産者が心一つにして「2025年ビジョン」を道標に歩んでいきましょう。

(2021年6月18日)

あいコープみやぎ 理事長  
高橋 千佳



あいコープみやぎの

「2025年ビジョン」が決定しました



あいコープみやぎは下記の基本理念・行動理念に基づいて活動しています。

#### 基本理念

私たちは協同の力で、  
人・食・環境を大切にする  
持続可能な社会をつくります。

#### 行動理念

- ・より自然で安全な食べ物にこだわり、生活者の暮らしと健康を守ります。
- ・日本の食糧自給率を高めるため、生産者と共に産直運動を推進させます。
- ・被害者にも加害者にもならず、環境に負荷をかけない暮らし方を広げます。
- ・人と人の輪を大切にして、誰もが安心して暮らせる地域づくりに取り組みます。
- ・安全・品質・価格・産直・環境面で優れた商品をつくり出します。
- ・組合員と職員がいっしょに活動できる組織づくりを進めます。



人

## つながり

人と人がささえあい、安心な地域社会をつくる

- 1 ジョイケアの認知度を広げ、子育て世代や高齢者がより利用しやすい仕組みをつくります。
- 2 社会福祉法人みんなの輪との協業に加え、利用者の方々との交流の機会を積極的に作り、障がい者支援の輪を広げます。
- 3 平和と人権を守る活動を行います。
- 4 貧困問題・少子高齢化など社会問題に対して、私たちができることをひとつひとつ検討し、実行します。

食

## はぐくみ

より自然で安全な食を守り育てる

- 1 組合員と生産者の協同の力で有機農法の拡大に取り組み、「持続可能な農・畜・水産業」を支えます。
- 2 「あいシテル」商品の利用結集と品質向上を通じて、食に関わる様々な問題の解決に努めます。
- 3 あいコープ型畜産の理解を深め、産直肉の利用を拡大することで、食肉加工場の安定経営を実現します。
- 4 仙台えんのう倶楽部との連携を強化し、えんのう(援農)の仲間づくりを活性化し、産地を支えます。
- 5 組合員の声を集めるしくみを作り、組合員のくらしを育むまなま通信を目指します。

あいコープみやぎ

# 2025年 ビジョン

— 持続可能な共生社会をめざして —

環境

## ゆたかに

自然と調和した循環型のくらしをめざす

- 1 「原発のない社会」を目指し、事業や産地での再生可能エネルギーのシフトを推進するとともにパルシステムでんきの利用者を増やします。
- 2 石けん運動を入口に合成洗剤・香害など有害化学物質削減に取り組み、環境を守る活動を進めます。
- 3 環境への負荷削減のため、商品供給を通じた脱プラスチックや環境に配慮した持続可能な暮らしの提案をします。
- 4 脱原発・水道民営化問題・石炭火力発電の環境問題等、暮らしに影響する諸問題を学習し、他団体との協同で行政へ積極的に働きかけます。

協同の力

## つたえる

いきいきと学びあい、あいコープの輪を未来に伝える

- 1 より多くの組合員が関われる多様な組合員活動を行い、あいコープの仲間を増やします。
- 2 組合員や地域社会との双方向による情報交流を深め、様々な考えを活かした生協作りを行います。
- 3 多様化する暮らしに対応したデジタル技術を推進し、組合員満足度を高めます。
- 4 生産者・組合員・職員が本来の生協の姿とあいコープらしさを発展させ、次世代へつなげます。
- 5 他団体と協同し、「人・食・環境」に関わる行政への働きかけを積極的に行い、課題の解決につなげます。